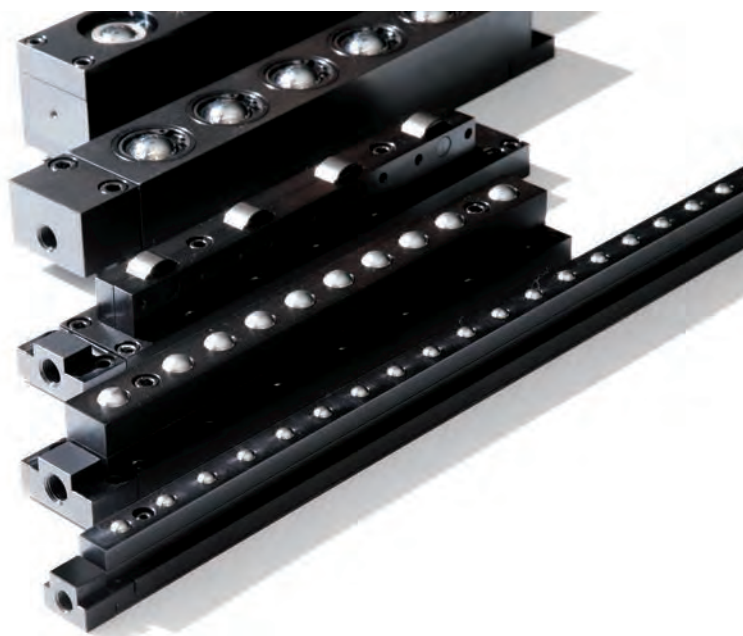


株式会社フリーベアコーポレーション

ボールを使って重量物を楽に動かす、トップメーカー

- 海外発注可能
- 納期相談
- 企画力・自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作・小ロット
- 量産対応



「エア浮上式フリーベアユニット」

業務内容

国内で50%強のシェア、品ぞろえ豊富

金型などの重量物を360度全方向に自在に動かせるボールトランスファーを「フリーベア」の商標名で製造販売している。フリーベア単品、フリーベアユニット、フリーベアテーブル、エア浮上式フリーベアユニットなどを豊富に品ぞろえし、ボールトランスファー分野で推定50〜60%のシェアを誇る。自動車産業向けを中心に、需要業界は幅広く、近年ではクリーンルーム環境を整えて液晶や半導体製造業向けにも拡販している。顧客は大手企業から町工場まで様々。また販売量の約70%は特注品で、細部を顧客ごとにカスタマイズして供給している。



フリーベア単体の組立作業

強み

1トンを30kg以下の力で動かす。改善活動に注力

重量物をいかに軽く動かせるかが求められる機能。静止状態から重量物が動きだす際の一番初めの抵抗（始動摩擦抵抗）の値で、フリーベアは重さの100分の3以下を保証し、世界トップ級の性能。対象が1tの物なら30kg以下の力で動かせる計算。エア浮上式フリーベアユニットは重量物の移動、着座が簡単に切り替えられ、金型を交換する際の位置決めが楽になり普及した。鋼球は社外から調達し、熱処理・表面処理など一部の工程は外注によるが、基本的に自社内で試作・開発から製造・出荷まで

経営

非世襲の経営、代理店網で販売

一貫でこなし、全体を自社で品質保証する体制を持つ。製造から営業までで十数チームを組織し、全社で品質改善活動に取り組み、年2回の活動報告会を開く。業績面でもリーマンショック前の利益水準を回復している。

今後の展望

アジア生産、構想を練る

創業者は、社業引退後は経営に関与せず、以後の社長起用も血族による世襲制ではない。経営トップに就く道が一般社員に開かれており、社員の意識活性化につながっている。平成24年就任の天野雅人社長を含め歴代社長は営業で力を発揮した人材で、ものづくり力の基盤の上で経営をけん引する。フリーベアは代理店販売のスタイルをとっており、十数社の1次代理店、多数の地域代理店との緊密な関係が事業展開の基軸となっている。

海外市場が成長のカギと見て、「世界にフリーベアを広げたい」と天野社長。これまで海外対応は日系ユーザーの補修需要が主だったが、今後はアジア市場で現地代理店網の構築を進めるとともに、3〜5年内に海外生産の青写真を作る考え。ただ一方で為替の円高が是正されてきたため、当面は製造業の部分的な国内回帰にも対応を強化する。

平成26年に技術者を製品開発と生産改善に担当区分する組織改革を実施した。生産改善の取り組みを深化させつつ、免震や食品分野など、新規需要の獲得にも力を入れる。技術者は順次増員する予定。

COMPANY PROFILE

株式会社フリーベアコーポレーション

大阪26

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

昭和46年に共栄精工として創業し、当初から色々な省力化機器を手がけてきました。様々な会社が細々と作っていたボールトランスファーの分野で、当社が初めてユニット化と品ぞろえを整えて本格販売し、独自のエア浮上式フリーベアユニットがヒットして需要をつかみました。平成12年に販売会社と統合、また平成17年に現本社工場を稼働したのを機に、企業基盤の強化に一段と注力しています。

私達は「重い」を動かし、人々の「想い」に応えます。フリーベアは今日も「おもい」を乗せて動きます。



代表取締役社長 天野 雅人さん

■主な事業内容

フリーベア、エア浮上式フリーベアユニットなどの製造・販売

■主な取引先（納入先）

自動車部品メーカー、家電メーカー、工作機械メーカー、伝動機器・機械工具商社

住所 / 〒577-0827 東大阪市衣摺6-3-3

TEL / 06-6728-7881

FAX / 06-6728-6481

設立 / 昭和46年10月

資本金 / 9,200万円

従業員 / 44名

<http://www.freebear.co.jp>